

Kanoya

国立大学法人
鹿屋体育大学

2015 National Institute of Fitness and Sports



心でかく汗、
体で見る夢。

ヘルシーな心は、ヘルシーな体に宿る。
そんな実感の日々が待っています。
夢が精神をストレッチしてくれる。
夢が身体にマインドを調和させる。
そんな「生きてる時間」が流れていきます。

National Institute of Fitness and Sports
Kanoya

国立大学法人
鹿屋体育大学
2015大学案内

〒891-2393 鹿児島県鹿屋市白水町1番地 / TEL : 0994-46-4869
URL <http://www.nifs-k.ac.jp/>

国立大学法人
鹿屋体育大学



全国でただ一つの国立の4年制体育大学



国立大学法人
鹿屋体育大学

〒891-2393 鹿児島県鹿屋市白水町1番地
TEL : 0994-46-4869
URL <http://www.nifs-k.ac.jp/>

再生紙を使用しています。



学長からのメッセージ



学長 福永 哲夫

体育とは体を育むことです。

国立体育大学としての鹿屋体育大学の使命の一つは、日本国民の体を育むための教育と研究を行うことです。

この数年の傾向として、子供から老人にいたる日本人の筋力や持久力などのいわゆる体力の低下が報告されています。体力が低下することは、働く能力(生産性)が落ちるばかりでなく、疲れやすい、動きたくない等、病気ではないけれども元気がない生活を意味しています。体力低下を引き起こした原因の一つに、日常生活において体を動かす時間がなくなってきていることがあげられます。車、テレビやコンピュータが日常生活に入り込んできていることが、運動の機会を少なくしている大きな原因であることが報告されています。

人間も動物である以上、筋を使って動くことが生命を維持するためには必要不可欠です。このように、現代社会においては、日常生活において筋が収縮する(運動する)機会を増やす工夫が必要です。しかしながら、どれくらいの量の筋の収縮が必要であるか、どのようにすれば効果的であるか、日常生活に筋活動をどのように組み込めばよいのか等、多くの課題が残されています。このような、国民の健康と体力の問題解決に直接かかわる学問領域が体育学、スポーツ科学です。鹿屋体育大学は、このような社会の要求にこたえることが出来る環境を備えており、これからの日本人の「体を育む」研究と教育に資することが期待されています。



表紙写真/福田 晃斗
スポーツ総合課程4年
サッカー部
サガン鳥栖 特別指定選手

Introduction

真の体育系創造派になるために

アスレティック・クリエイターになる。

ヘルス・クリエイターになる。

サイエンス・クリエイターになる。

トラディショナル・クリエイターになる。

ティーチング・クリエイターになる。

さまざまな可能性を実現するために、今がある。

そのためのフィールドがここにある。

未来へー 体育系創造派たちよ。

クリエイト、創造ということ。

その可能性をスポーツの分野でも

見い出すことができる人。

その夢をめざし、アクションを起こす人。

そんな若者を、私たちは体育系創造派と呼びます。

自分らしい夢がいい。遠大な夢がいい。

輝くのは、追いつける姿。

思い描く明日があるから、今日を疾走できる。

さあ、フィットネスとマインドが

調和したゴールをめざして。

南国、鹿児島からスタートの号砲が聴こえる。

Introduction

1

- 体育学部
- 大学院
- 施設

Message of Spirit

14

- 在学生からのメッセージ
- 卒業生からのメッセージ
- 留学生からのメッセージ(国際交流)

Campus Life

23

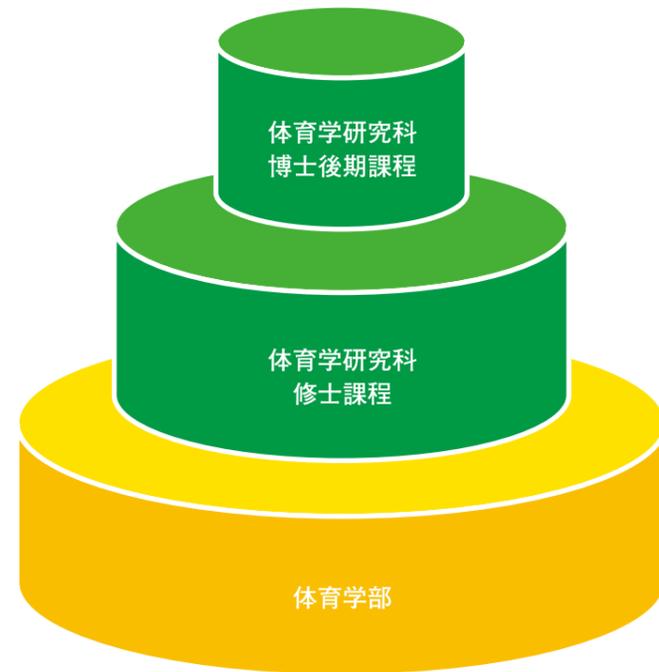
- 年間行事
- サークル活動
- 福利厚生
- 学生宿舎
- 所在地

Data

29

- 入試結果
- 就職
- 学費・奨学金・傷害保険
- Q&A・インフォメーション
- 大学説明会・体験授業
- 資料請求

競技力の向上、運動による健康づくり、
そして個性輝く大学を目指す。



あなたは、ポテンシャルを
どこで発揮しますか？

体育学部の目的

鹿屋体育大学は、体育・スポーツ、レクリエーション及び武道（以下「スポーツ・健康」と総称する。）に関する理論と実践を教授研究し、もって豊かな教養と高い学識及び優れた技能を合わせ備えた実践的、創造的なスポーツ・健康に関する指導者を養成するとともにスポーツ・健康に関する理論や実践の深奥をきわめ、その進展に寄与することを目的としています。

大学院体育学研究科の目的

スポーツ・健康に関する学術の理論及び応用と実践が一体となった教育研究を展開し、その深奥をきわめ、又は高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培い、スポーツ文化の進展及び国民の健康の増進に寄与することを目的としています。

Faculty of Physical Education

体育学部

アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

本学は、心身ともに健康でスポーツを愛好する次のような人材を養成することを目標としています。

—体育・スポーツ及び武道の分野において、理論と実践とを連結する能力を有し、かつ人間的な魅力に満ちた指導者になり得る人材—

- 競技スポーツの分野において、競技選手の競技力向上を適切に支援することができる指導者になり得る人材
- 生涯スポーツ・健康づくりの分野において、人々の健康状態や体力等に応じた適切な指導ができる指導者になり得る人材

このため、入学者選抜試験を通じて本学が求める人材像は、次のとおりです。

- スポーツ・武道を自ら実践することを通じて、心身を鍛え、スポーツマンシップを身に付け、自主性や自律性を持ち、新たな課題に進んで挑戦しようとする感性豊かで協調性やコミュニケーション能力、思いやりの心を備えた学生
- スポーツ・武道の実践や文化としてのスポーツ・武道を愛好し、あるいは運動による健康づくりに関心を持ち、生涯を通じてこれらと深くかかわりたいと考えている学生

●高等学校で身に付けてほしい学力・能力

体育・スポーツ及び武道を学ぶにあたっては、人文・社会科学から自然科学まで幅広い分野の学修が求められることから、高等学校での学習は保健体育の基礎的な学力だけでなく、国語や英語で修める文献などの読み解きやコミュニケーションする基礎的な能力、理科や数学で修める人体のしくみや動きなどを分析するための基礎的な学力、並びに地理歴史や公民で修める社会における体育・スポーツ及び武道の役割などを理解するための基礎的な学力を身に付けておくことが大切です。さらに、体育大学での専門的な実技実習などを修学するために必要なスポーツ・武道の実技能力を身に付けておくことも大切です。



スポーツ総合課程

体育・健康づくりに関する科学的な基礎知識や応用能力を有し、競技スポーツ、生涯スポーツ、健康づくりに関する専門的能力を、理論と実践の往還を通じて修得することにより、バイタリティーを持ち、国際社会の進展に対応できる実践的かつ創造的で、市民性に備えたリーダーの育成を目標とします。



武道課程

体育・健康づくりに関する科学的な基礎知識や応用能力を有し、我が国発祥の身体運動文化として伝承され、今日において競技文化としても広く認識されている武道、特に柔道・剣道における心と技を伝統的修練形式である稽古を通じて修得することにより、武道の精神と、国際社会の進展に対応できる実践的かつ創造的で、市民性を備えたリーダーの育成を目標とします。

すべてはキミの可能性の実りのために。

教育内容の特色

本学の教育課程は、体育、スポーツ、レクリエーション及び武道に関する理論と実践を教授研究し、もって豊かな教養と高い学識及び優れた技能を合わせ備えた実践的、創造的なスポーツ・健康に関する指導者の養成を図る観点から、以下のとおりカリキュラムポリシーを定めています。



カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成方針）

鹿屋体育大学体育学部では、スポーツ・武道及び体育・健康づくりにおける実践的かつ創造的で、市民性、国民性を備えたリーダーを養成するために、課程や学生の志向性に沿って、学年進行で

1. 専門性の深化と充実
2. 社会人としての豊かな教養の涵養
3. 将来を展望し、勤労観・職業観を醸成

できるための教育課程を編成する。



詳細はこちら

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

鹿屋体育大学体育学部では、スポーツ・武道及び体育・健康づくりにおける実践的かつ創造的で市民性、国際性を備えたリーダーを養成するために、以下のような知識・能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に学位を認定します。

- ① 国民各層のスポーツ・武道及び体育・健康づくりを指導し、普及させるための基礎的な知識及び豊かな教養を身につけている。
- ② スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関する実技力、科学的支援力及び表現力を身につけている。
- ③ スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関して、年齢、目的等に応じた体系的な実技指導力や事業運営力を身につけている。
- ④ スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関する課題について、体育学の知識を総合的に活用・応用し、説明することができる。
- ⑤ スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関心をもち、主体的かつ計画的に、課題解決に向かって取り組む意志をもっている。
- ⑥ スポーツ・武道及び体育・健康づくりにおけるリーダーシップとコミュニケーション能力をもつとともに、社会の一員として適切に振舞う態度を身につけている。

教育課程

- ① 教育課程(カリキュラム)とは、本学の教育目的を達成するために必要な授業科目を開講して、体系的に編成されたものです。
- ② この教育課程に基づいて、学生が自分の意志で履修計画を立て学習することが前提となっています。そのために本学は学生に役立つ教育課程を学生に提示しており、その教育課程の中から自分の進路、希望に応じた授業科目を自主的に選択する仕組みになっています。
- ③ 本学の教育課程は、その教育内容について本学の特色を発揮するための工夫がされており、また、学生自身の学習計画を樹立するにあたっての諸条件を定めています。

授業時間

(1) 学期と授業時間割

学年を次の前期・後期に区分し、原則として各学期ごとに授業科目の設定を行います。
なお、授業は、原則として各学期とも15週(試験を課す場合は16週)にわたって行います。

	第1時限 (90分)	第2時限 (90分)	第3時限 (90分)	第4時限 (90分)	第5時限 (45分)
開始	8:30	10:10	12:40	14:20	16:00
終了	10:00	11:40	14:10	15:50	16:45

前期:4月1日～9月30日 後期:10月1日～3月31日

授業は、左表のとおり行います。
集中講義や学外授業などを行うことがあります。

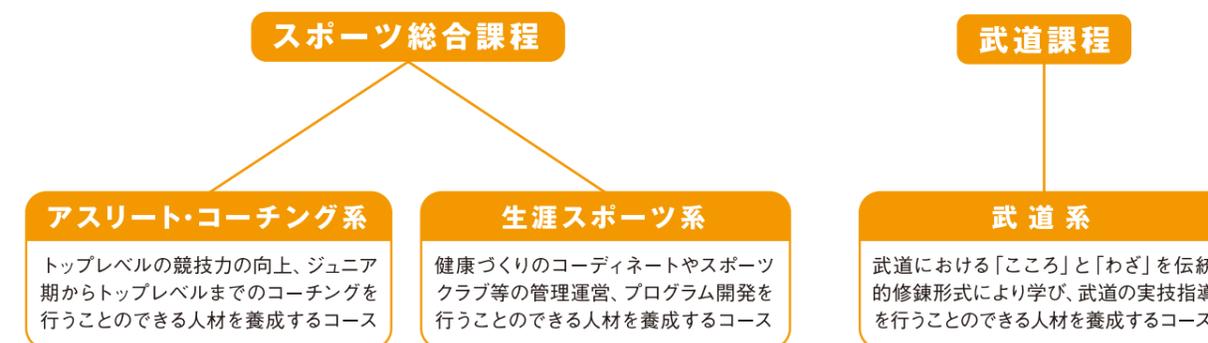
(2) 休業日

- ① 週休日(土曜日・日曜日)及び国民の休日に関する法律に定める休日 ② 開学記念日(10月1日)
- ③ 夏期休業日(8月3日～9月30日) 冬期休業日(12月26日～1月7日) 春期休業日(3月11日～3月31日)
- ④ その他大学が定めた日 注:休業日においても、特別な場合には講義を行うことがあります(集中講義等)。

(3) 授業の方法

講義、演習、実験、実習若しくは実技又はこれらの組み合わせにより実施します。

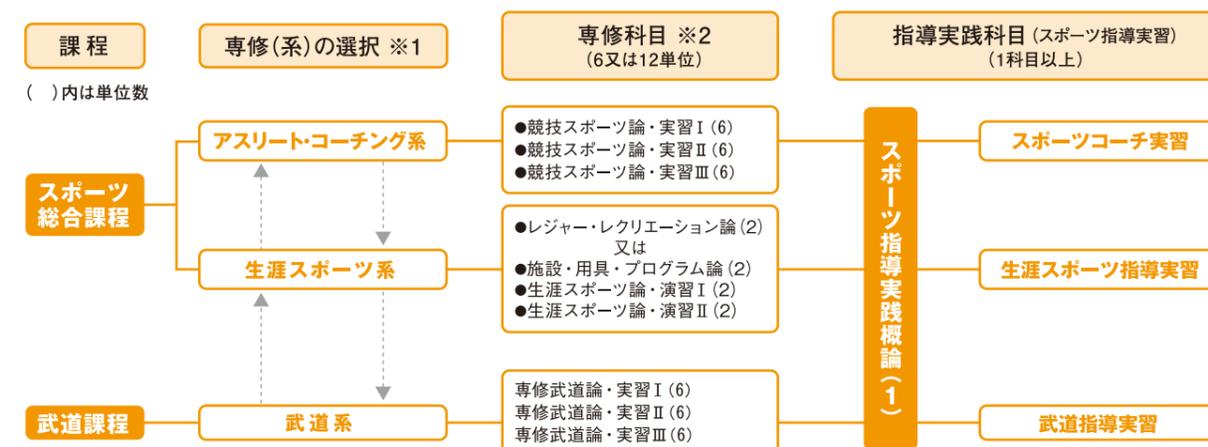
「課程」と「系」



専攻科目の系の選択

本学は教育目標の達成に向け、専攻科目では下図に示すように3つの専攻の系を設定し、それぞれの専門に向けた勉学ができるように編成しています。課程毎に次のように系を選択することとなっています。

- ① スポーツ総合課程に所属する学生は、「アスリート・コーチング系」「生涯スポーツ系」より1系を選択し、履修します。
- ② 武道課程に所属する学生は、「武道系」を履修します。



※1) 決められた条件の中で、1つの系以上を選択できるものとする。スポーツ総合課程では2つの系より選択できます。
※2) 各系の必修科目を示しています。
※3) 選択した系以外の履修可能な他系を--->で示す。

教育課程の編成

- (1) 授業科目は、原則として学期完結型(学期毎に単位認定を行う。)として設定しています。ただし、一部の科目については、通年科目となっています。
 (2) 授業科目は、大きく①一般科目、②キャリア形成科目、③専門科目、④専攻科目、⑤教職科目に区分されています。

区分	科目群の特徴(ねらい)
①一般科目	社会の一員として適切に振る舞う態度と豊かな教養、コミュニケーション能力を身につける科目
②キャリア形成科目	スポーツリーダーとしての将来像と職業観・就業観及びキャリアデザイン力を醸成する科目
③専門科目	スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関する専門的な知識、実能力、科学的支援力や表現的能力及び課題解決力を身につける科目
④専攻科目	スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関して年齢、目的等に応じた体系的な実技能力や事業運営力を身につける科目
⑤教職科目	中学校や高等学校の保健体育の教員としての免許状を取得するための専門(教科)及び教職に関する科目

さらに、これらの科目群は次のように区分されています。

区分	科目区分の特徴(ねらい)
①一般科目	コミュニケーション科目 国内はもとより国際社会で活躍できる語学力とコミュニケーション能力を涵養する科目
	社会・文化・自然科目 社会の一員として、人間、社会、文化自然及び環境に関する教養や態度を涵養する科目
	総合科目 社会の一員として、基礎的な情報リテラシー、表現的能力や討論力を身につける科目
②キャリア形成科目	キャリアデザイン科目 スポーツリーダーとしての将来像と勤労観・職業観を醸成する科目
③専門科目	基礎科目A(人文・社会・自然系) 体育学の基礎となる人文・社会及び自然系の分野の内容を理解する科目
	基礎科目B(指導・普及系) スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関する指導や普及の基礎的な内容を理解する科目
	応用科目 国民各層のスポーツ・武道及び体育・健康づくりに指導し、普及させるための専門性、応用的な内容を身につける科目
	実験演習科目 スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関する基礎的な科学的支援力や表現的能力を身につける科目
	関連実技科目 スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関する基礎的な実技能力を身につける科目
④専攻科目	ゼミナール(卒業研究) スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関する興味あるテーマについて、体育学の知識を総合的に活用し、課題設定、解決、説明する能力を身につける科目
	専修科目 アスリート・コーチング系 / 武道系 / 生涯スポーツ系 スポーツ・武道及び体育・健康づくりに関して、年齢、目的等に応じた体系的な実技指導力や事業運営力を身につける科目
	指導実践科目 アスリート・コーチング系 / 武道系 / 生涯スポーツ系 専修科目等で身につけた体系的な実技指導力や事業運営力を実地的・実践的に活用し、深める科目
⑤教職科目	教職 中学校や高等学校の教員としての免許を取得するための教職に関する科目
	専門 中学校や高等学校の保健体育の教員としての免許を取得するための専門(教科)に関する科目

① 一般科目

区分	授業科目名	開講年次	区分	授業科目名	開講年次	区分	授業科目名	開講年次
コミュニケーション科目	英語 I	1	社会・文化・自然科目	日本事情	1	総合科目	環境論	1
	英語 II	2		現代日本事情	2		総合演習A	2
	上級英語	3		各国文化研究	1~4		総合演習B	2
	英語コミュニケーション I	1		倫理・哲学	1		総合演習C	3
	英語コミュニケーション II	2		人権論	1		総合演習D	2
	上級英語コミュニケーション	3		ジェンダー論	1		総合演習E	2
	中国語	3		歴史学	2		情報処理A	1
	韓国語	3		社会学	2		情報処理B	2
	国語・文章表現法	1		日本国憲法	1		情報処理C	2
	ドイツ語	3		日本文化論	1		プレゼンテーション・討論 I	2
	フランス語	3		異文化理解	3		プレゼンテーション・討論 II	3
	留学生のための英語	1		国際関係論	4		交流リベラルアーツ	1~4
	日本語演習 I	1		生物化学論	1			
	日本語演習 II	2		身体科学論	1			

② キャリア形成科目

区分	授業科目名	開講年次
キャリアデザイン科目	キャリアデザイン I	1
	キャリアデザイン II	1
	キャリアデザイン III	2
	キャリアセミナー	3
	キャリアコミュニケーション	3
	企業実習(1週)	2~3
	企業実習(2週)	2~3
	キャリア対策セミナー(教員)	3
	キャリア対策セミナー(一般企業)	3
	キャリア対策セミナー(公務員)	3
ボランティア活動*	1~4	

③ 専門科目

区分	授業科目名	開講年次	区分	授業科目名	開講年次	区分	授業科目名	開講年次
基礎科目	解剖生理学	1	応用科目	スポーツ産業論	2	関連実技科目	サッカー	1
	体育・スポーツ哲学と倫理	1		スポーツ老年学	2		ラグビー	2
	体育・スポーツ史	1		スポーツ文化論	2		水泳	3
	健康教育学	1		スポーツトレーニング実践論	3		器械運動	3
	運動生理学	1		体育・スポーツ行政学	3		ダンス	3, 4
	スポーツ栄養学	1		武道文化論	3		バレーボール	3
	スポーツ社会学	2		身体発育発達論	3		柔道	1
	スポーツ経営・管理学概論	2		スポーツ戦術実践論	3		剣道	1
	生涯スポーツ学概論	2		社会調査論	3		エアロビックダンス	1
	スポーツ心理学	1		スポーツ運営論	3		ジョギング&ウォーキング	2
	バイオメカニクス	2		体育・スポーツ統計学	3		生涯スポーツ・レクリエーション&ゲームズ	1
	衛生学・公衆衛生学	2		スポーツマーケティング論	3		テニス	2
	スポーツ医学	3		運動処方論	3		夏季山岳レジャースポーツ実習	2
	救急処置論・実習	2		応用スポーツ心理学	3		冬季山岳レジャースポーツ実習	2
	トレーニング科学概論	2		イベント管理学概論	3		海洋スポーツ	2
スポーツカウンセリング論	2	ヘルスプロモーション論・実習	4	卓球	3			
運動学概論	2	救急法実習	1~4	バドミントン	3			
基礎科目	学校保健	2	実験演習科目	体育学実験I(運動生理学、バイオメカニクス、スポーツ心理学、衛生学、公衆衛生学、スポーツ栄養学)	1	ソフトボール	2	
	スポーツと法	3		体育学実験II(運動生理学)	2	ゴルフ	4	
	コーチ学概論	2		体育学実験II(バイオメカニクス)	2	なぎなた	2	
	障がい者スポーツ論	3		体育学実験II(スポーツ心理学)	2	相撲	2	
	武道学概論	1		生涯スポーツ実践論	3	弓道	2, 4	
	マッサー・ジ・テーピング論・実習	3		武道史	2	野外活動	2	
	生涯スポーツ実践論	3		運動生化学	2	体力トレーニング	2	
	アスレチックリハビリテーション論	2		アスレチックリハビリテーション実習	3	ゼミナールI	2	
	アスレチックリハビリテーション実習	3		陸上競技	3	ゼミナールII	3	
				体操(体づくり運動を含む)	1	ゼミナールIII	4	
		バスケットボール	1	卒業研究	4			

④ 専攻科目

区分	授業科目名	開講年次	区分	授業科目名	開講年次	区分	授業科目名	開講年次
専修科目	アスリート・コーチング系	陸上競技	1~4	専修科目	生涯スポーツ系	指導実践科目	レジャー・レクリエーション論	2
		水泳	1~4				施設・用具・プログラム論	2
		体操競技	1~4				コミュニケーションスポーツ	3
		バレーボール	1~4				生涯スポーツ論・演習I	3
		バスケットボール	1~4				健康・体力	3
		サッカー	1~4				野外教育	3
		テニス	1~4				コミュニケーションスポーツ	3
		海洋スポーツ	1~4				生涯スポーツ論・演習II	3
		自転車競技	1~4				健康・体力	3
							野外教育	3
				専修科目	武道系	専修武道論・実習I、II、III、IV	1~4	
						柔道	1~4	
						剣道	1~4	
						スポーツ指導実践概論	1	
						スポーツコーチ実習	3	
						生涯スポーツ指導実習	3	
						武道指導実習	3	
						SCO-OP実習	3~4	

⑤ 教職科目

区分	授業科目名	開講年次	区分	授業科目名	開講年次	区分	授業科目名	開講年次	
教職科目	教職	教師論	1	教職科目	教職	教職科目	専門	保健体育科教育法II	2
		教育心理学	2					保健体育科教育法III	3
		道徳教育の研究	2					保健体育科教育法IV	3
		特別活動論	2					教育実習I	4
		教育方法・技術	2					教育実習II	4
		教育史	3					教職実践演習(中・高)	4
								保健体育科教育法I	2

単位互換等

- ① 本学は、鹿児島県内大学等及び放送大学と単位互換協定を締結し、当該大学の授業科目を履修し、試験に合格すると、本学の授業単位として認定されます。
 ② 実用英語技能検定、TOEFL、情報処理技術者試験及び日本赤十字社が開講する救急法救急員養成講習会についても、本学の授業科目として読み替えることができる場合があります。

本学で取得できる免許状

	免許・資格の種類	資格認定団体等	職務内容等
免許状	中学校教諭一種免許状	各都道府県教育委員会	中学校・高等学校の保健体育の教諭
	高等学校教諭一種免許状		

一部共通科目又はすべての共通科目の免除により受験可能な免許・資格

	免許・資格の種類	資格認定団体等	職務内容等
	スポーツリーダー	日本体育協会	・地域におけるスポーツグループやサークルなどのリーダーとして、基礎的なスポーツ指導や運営にあたります。
	指導員		・地域スポーツクラブ等において、スポーツに初めて出会う子供達や初心者を対象に、競技別の専門的な知識を活かし、個人々の年齢や性別などの対象に合わせた指導にあたる。 ・地域スポーツクラブ等が実施するスポーツ教室の指導にあたる。 ・施設開放において利用者の指導支援を行う。
	コーチ		・地域において、競技者養成のための指導にあたる。 ・広域スポーツセンターや各競技別のトレーニング拠点において、有望な競技者の育成にあたる。 ・広域スポーツセンターの巡回指導に協力し、より高いレベルの実技指導を行う。
	教師		・商業スポーツ施設等において、競技別の専門的指導者として、質の高い実技指導を行う。 ・会員(顧客)が満足できるよう、個人々の年齢や性別、技能レベルやニーズなどに合わせたサービスを提供する。
	スポーツプログラマー		・主として青年期以降の全ての人に対し、地域スポーツクラブなどにおいて、フィットネスの維持や向上のための指導・助言を行う。
	ジュニアスポーツ指導員		・地域スポーツクラブ等において、幼・少年期の子どもたちに遊びを通じた身体づくり、動きづくりの指導を行う
	アシスタントマネージャー		・総合型の地域スポーツクラブなどにおいて、クラブ員が充実したクラブライフを送ることができるよう、クラブマネジメントの諸活動をサポートする。
	サッカーC級コーチ	日本サッカー協会	・地域においてスポーツ活動を実施しているクラブやグループ、スポーツ教室で、サッカーの基礎的な技術や一般的な身体活動の指導を行う。
	社会体育指導員(初級)	全日本剣道連盟	・地域において、剣道活動を実施している学校・道場・クラブ・グループ・スポーツ教室等で剣道の指導にあたる。
	健康運動実践指導者免許	健康・体力づくり事業財団	・市町村保健センターやフィットネスクラブ等で健康づくりのための運動指導等にあたる。
	健康運動指導士免許		・メディカルスタッフと連携し、メタボリックシンドロームの予防、生活習慣病ハイリスク者への運動指導、少子高齢社会を踏まえた介護予防のための運動指導にあたる。
	イベント検定	日本イベント産業振興協会	・イベントの総合的な企画、運営等にあたる。
	レクリエーション・インストラクター	日本レクリエーション協会	・さまざまな遊びのメニューと技術を持ち、楽しさの体験を多くの人に提供する。
	レクリエーション・コーディネーター		・地域におけるスポーツ活動を支援し、仲間づくりや人々のふれあい活動を推進する。

Graduate School of Physical Education
体育学大学院

アドミッション・ポリシー(入学者受入方針)

21世紀の体育学は、人文・社会科学分野と自然科学分野の諸科学が体系的に融合し、学際的な複合新領域として発展する方向にあります。

修士課程

- スポーツや身体運動を通して、国民が健康で幸福を享受できる社会の構築に貢献する専門的・実践的な能力の養成及び職業人として中核的な役割を担う人材の育成を目指しています。本課程では、次のような人材を求めています。
- 豊富なスポーツ実践活動の経験を有し、科学的な研究成果を実践へと応用することによって、我が国における競技スポーツや武道実践の分野、体育及びスポーツ教育の分野で中核的な存在として活躍する意志と能力を持つ人
 - 生涯スポーツが国民の健康や幸福に与える価値を認め、我が国のスポーツや身体運動に関する文化、地域政策、医療福祉、健康産業、ビジネスなどの分野で中核的な存在として活躍する意志と能力を持つ人
 - 国際的な視野と感覚を有し、スポーツや身体運動に関する高い水準の独創的な研究を推進するために、博士後期課程に進学する意志と能力を持つ人
 - 体育及びスポーツの分野ですでに活躍している現職者で、本教育課程を通して、さらに高度な専門的能力を身に付ける意志と能力を持つ人
 - 高い競技力を有し、国際的な大会で活躍できるとともに、我が国の代表として誇れる人格と教養を持ち得るトップアスリート

博士後期課程

- 体育学に関する最先端の研究活動を推進するとともに、スポーツや身体運動を通して、国民が健康で幸福を享受できる社会の構築に貢献する高度な専門的能力を有する人材の育成を目指しています。本課程では、次のような人材を求めています。
- 豊富なスポーツ実践活動の経験を有し、科学的な研究成果を実践へと応用することによって、我が国及び諸外国における競技スポーツや武道実践の分野、体育及びスポーツ教育の分野で高度に活躍する意志と能力を持つ人
 - 生涯スポーツが国民の健康や幸福に与える価値を認め、我が国及び諸外国のスポーツや身体運動に関する文化、地域政策、医療福祉、健康産業、ビジネスなどの分野で活躍する意志と能力を持つ人
 - 国際的な視野と感覚を有し、スポーツや身体運動に関する高い水準の独創的研究によって、世界的な研究者として活躍する意志と能力を持つ人

教育課程の概要

修士課程

体育・スポーツ、健康に関する科学的及び実践的な教育研究領域において、特に社会的要請の強い分野を中心とした専門性の高い職業人の養成、研究者の養成及び社会人の再教育を目的とした多様なカリキュラムを編成しています。また、次のような教育目標に沿った教育を効果的に行うため授業科目を共通コア科目及び基礎科目・応用科目に区分して設けています。

- 国民各層の身体活動に対する欲求を把握・分析し、スポーツ医学分野の学際的な研究活動を基盤としてそれらを統合し、生涯を通じた健康水準や生活環境等に応じた適切な生涯スポーツプログラムを攻究するとともに、生涯スポーツ分野における高度な管理・運営能力を有する専門的指導者の養成を図る。
- 各種スポーツ・武道の競技力向上のための技能を分析し、スポーツ科学の学際的な研究活動に基づいたトレーニング理論と方法を攻究するとともに、それらを統合した実践的な指導能力と幅広い応用能力を身に付けた高度の専門的指導者の養成を図る。
- 国民の健康・体力水準の向上と競技力水準の向上に資するため、科学と実践に関する専門的知識を総合的に判断し攻究する、健康・スポーツ科学分野の研究者の養成を図る。

博士後期課程

大学院体育学研究科(博士後期課程)においては、共通領域、スポーツ総合科学領域、スポーツ文化・社会科学領域、スポーツ生命科学領域により教育課程を編成しています。また、平成19年4月から独立行政法人日本スポーツ振興センターの国立スポーツ科学センターとの連携大学院を締結し、同センターの特色を生かした論文指導や授業を実施しています。

ディプロマ・ポリシー(学位授与に関する方針)

修士課程

鹿屋体育大学大学院体育学研究科修士課程では、スポーツ・武道及び体育・健康づくりにおける実践的かつ創造的で市民性、国際性を備えた高度な専門的指導者や研究者を育てるために、以下のような知識・能力を身につけ、所定の単位を修得し、かつ必要な研究指導を受け学位論文の審査及び最終試験に合格した学生に学位を認定する。なお、学位論文に代えて特定課題の研究成果とすることも可能である。

1. スポーツ・武道及び体育・健康科学の分野における専門知識・技術の教育研究能力を身につけている。
2. スポーツ・武道及び体育・健康づくりの分野における高度の専門性が求められる職業を担うための学識及び能力を身につけている。
3. スポーツ・武道文化の進展及び国民の健康の増進に積極的に寄与する態度を身につけている。

博士後期課程

鹿屋体育大学大学院体育学研究科博士後期課程では、生涯スポーツや競技スポーツの分野において、関連する諸科学等の研究の進展の成果を学際的・統合的に把握して、これまでにない学際領域の分野を開拓し、実践に結びつけることができる独創性のある高度専門指導者を養成するために、以下のような知識・能力を身につけ、所定の単位を修得し、必要な研究指導を受け学位論文の審査及び最終試験に合格した学生に、学位を認定する。

1. スポーツ・健康に関する科学の分野において、自立した研究活動を行える高度な知識・能力を身につけている。
2. スポーツ・健康に関する科学の分野における高度で豊かな学識を身につけている。
3. スポーツ文化の進展及び国民の健康の増進に寄与する知識・能力・態度を身につけている。



透過型電子顕微鏡

トップクラスの 充実環境。



施設

Campus and Facilities



① 陸上競技場
全天候型の400mトラックで競技会ができる3種公認競技場です。



② サッカー場・ラグビー場
公式競技用としての広さを有し、サッカー場・ラグビー場それぞれ全面芝生張で照明設備も設置されています。



③ テニスコート
ハードコート、オムニコートがあり、照明設備も設置されています。



④ 野球場
両翼92m、中堅117mあり、スコアボードは本部席から操作できるように判定表示装置が設置されています。



⑤ トレーニング場
主に屋外競技用のトレーニング施設で、科学的トレーニングを行うための各種ウエイトトレーニング機器等が設置されています。



⑥ 球技体育館
室内競技専用の体育館で、バレーボール(バスケットボール)バドミントン、卓球の専用室があります。



⑦ ゴルフ練習場
南側の丘陵斜面に設置され、打席数は11、フェアウェイは130m×38mの広さです。



⑧ 屋内実験プール
泳ぎについて運動力学、運動生理学的見地から科学的に教育研究活動が行えるように最新鋭の設備機器と50m長水路、25m短水路のコースを備えた日本で唯一の実験プールで、水泳、シンクロナイズドスイミング、高飛び込み競技ができ、泳法、泳力等をあらゆる角度から分析研究できる減圧可能な流水プール、データ分析室等を備えています。



⑨ 総合体育館
総合体育館は各種公式競技に対応できるよう設計されており、主体育館は球技用としてバスケットボール2面、バレーボール2面、テニス2面、ハンドボール2面、バドミントン8面の競技が可能なスペースを確保でき、また、450名収容可能な移動観覧席が2か所に設置されています。その他、体操練習室、ダンス練習室、トレーニング室があります。



⑨ 体操練習室
体操練習室には、鉄棒、跳馬、あん馬、つり輪、ゆか、平均台、平行棒等の体操競技に必要な器具・設備が設置され、公式競技も可能となっています。



⑩ 武道館
武道の継承、振興及び競技力の向上を目指す本学武道課程の中心施設で、1階に柔道場と相撲場、2階に剣道場、武道館に隣接して弓道場があります。



⑩ 柔道練習場
武道館には、公式競技が同時に2面可能な342畳敷の柔道場、さらにサブ道場(136畳敷、ウエイトトレーニング用機器常置)も設置されています。



⑩ 剣道練習場
武道館には、公式競技が2面可能な剣道場及びサブ剣道場があり、床は松材です。



⑪ スポーツパフォーマンス研究棟
本学が推進するスポーツパフォーマンス研究の拠点施設(平成27年3月竣工予定)

携帯から施設のページにアクセス!! <http://www.nifs-k.ac.jp/outline/facilities/school.html>



海洋スポーツセンター

Center for Water Sports and Sciences

海洋スポーツに関する理論教育・実技指導及び研究活動を行うほか、広く海洋スポーツに関する研修会・講習会の開催、課外活動等にも活用し、実践的指導者の養成、競技力の向上及び生涯スポーツとしての底辺拡大を目指しています。

また、海洋スポーツを通じた諸外国の指導者や競技者との国際交流に資することも目的としています。

スポーツトレーニング 教育研究センター

Center for Sports Training Research and Education

高度な測定機器やトレーニング機器を本センターに集中的に配置し、学内共同利用施設として、教員はもとより学部生や大学院生が自由に施設を活用して、トレーニングの研究や実践を行う場を提供しています。また、科学的なトレーニングに関する様々な研究プロジェクトも常時行われています。

たとえば、発育・発達段階に応じた一般児童生徒の体力づくりや、ジュニアアスリートのトレーニングの新たな方法を開発するために、地域の小・中・高等学校と連携して体力測定やそのデータを元にしたトレーニングを長期的な視点で行っています。また、様々なスポーツ種目に携わる国内一流選手を対象とした、科学的なトレーニング方法に関する研究も行っています。これらの研究成果を講習会、学術誌、広報誌、ホームページなどを通じて、学内外に情報発信しています。



多彩に広がるスポーツ環境。

施設

Facilities

国際交流センター

International Exchange and Language Education Center

グローバルに活躍し得る人材養成を目的に、2つのCALLシステムや多読用図書を活用し、外国語教育(英語、フランス語、ドイツ語、中国語、韓国語、留学生対象の日本語)や異文化理解に関する教育研究を行っています。

また、学生や教職員の外国語の学習・研究のための利用や大学間交流協定校からの学生の受け入れ及び本学学生の派遣等国際交流事業を推進するとともに、地域住民への公開講座なども開講しています。



■LL2教室(アスリート支援語学学習システム・56ブース)

スポーツ情報センター

Information Technology Center for Sports Sciences

情報通信技術を用いた教育と研究を支援するとともに、情報の発信を通じて体育・スポーツの進展に寄与することを目的としています。

各種のネットワークサービスをはじめ、三次元動作分析装置や高速度カメラなどスポーツ科学の実験設備を利用者に提供しています。情報処理演習室は平日22時まで開室しており、研究情報の収集やレポート作成など、連日多くの学生に利用されています。



光学式3次元モーションキャプチャ

生涯スポーツ実践センター

Interdisciplinary Research Center for Lifelong Sport and Physical Activity

生涯スポーツに関する実践指導と学際的な研究・教育を広く社会との連携を図りながら行うことを目的としています。

主に、人々の各ライフステージに応じた運動・スポーツプログラムの開発・指導、地域のスポーツ振興や健康づくり、地域スポーツプログラムの育成支援、生涯スポーツ指導者の育成支援、運動・スポーツプログラムの地域社会への効果の測定などに関する教育研究を行っています。



附属図書館

Library

附属図書館では、教育研究活動に必要な専門図書や一般教養図書のほか、体育・スポーツ、レクリエーションや武道分野の雑誌や新聞、視聴覚資料も数多く所蔵しています。館内には、利用者用パソコンを設置し、電子図書館的な機能も充実しており、体育・スポーツ分野のデータベースや電子ジャーナル等が利用できます。 ■附属図書館ホームページ<http://www.lib.nifs-k.ac.jp/>

過去、現在、そして未来。

時代が激しく動く。時が速く駆ける。

その中で見極めたいのは、「我々には何が必要なのか」

今、求められるのは、「クリエイター力」「クリエイター心」

新たな歴史を創り、夢を実現し、新世紀を生き抜く。

そこには、いつもキミたちがいるはずだ。

だから今、キミたちへメッセージを送りたい。

ここに集う、アクティブクリエイターたちから。

Message of Spirit

鹿屋だからこそ、“できること”

私が鹿屋体育大学に進学しようと思ったのは、国立大学で唯一の武道課程があり剣道を続けていくうえで武道の大切さや知識をより深く学ぶことができ、剣道を通じて人格形成を目指すことができると思ったからです。また、前阪先生をはじめ竹中先生、下川先生の三人の先生方の元で剣道を学び、目標とする「日本一」を目指そうと思い進学を決めました。

入学したばかりの頃は不安もありましたが、同級生をはじめ同じ目標をもった集団の中で生活することで不安もなくなり、互いに刺激し合うことができるようになったと思います。この恵まれた環境の中で、日々の稽古に励み全日本女子学生個人優勝(一年次、三年次)、団体優勝(二年次)という結果を残すことができました。このような結果が残せたのも指導して下さる先生方、共に支え合い、競い合うことのできる仲間たち、どんな時も応援してくれる家族の存在はすごく大きかったと感じます。そして、鹿屋という恵まれた環境の中で剣道に集中することができたからだと思います。

残り一年間を悔いのないよう、もう一度「日本一」目指して日々精進していきたいと思えます。鹿屋だからこそできることがあります。一緒に頑張っていきたいです。



津田 佳菜子

Tuda Kanako
武道課程4年
平成23年度 AO(SS)入試
中村学園女子高校出身
剣道部所属



在学生からのメッセージ

Messages from students

鹿屋だからできる。

私が鹿屋体育に入学してから1年が経ちました。鹿屋体育大学を選んだ理由は、まず全国でただ一つの国立の4年制体育大学であり、教員免許を取得することもできるからです。

また、この大自然に囲まれ広々とした環境の中で練習に専念することができ、競技力向上するうえで必要な施設や環境も整っているからです。私は小学校1年生から続けているなごなで、高校時代に団体全国優勝を目標に稽古していましたが、目標を達成することができませんでした。

そこで、大学では高校時代成し得なかった団体全国優勝を目標に、恩師の教えでもある「百練自得」をモットーに、日々周りの環境に恵まれながら先輩方と切磋琢磨して稽古に専念しています。

他に、当大学には様々な競技で全国トップクラスのアスリートが揃っており、他競技から色々とプラスになる刺激を受けています。最近では大学の近くに「アスリート食堂」という体育大生をサポートし、栄養を考えた食事を提供してくれる食堂もオープンしました。親元を離れ、初めて一人暮らしをする学生も安心して生活することができます。

今、日本は6年後に東京オリンピックも控えており鹿屋から世界に羽ばたくアスリート達が誕生することを期待しています。



大城 海輝

Oshiro Kaiki
スポーツ総合課程3年
H24年度AO(SS)入試
沖縄水産高校出身
カヌー部所属



オリンピックを目指して

私が鹿屋体育大学の入学を決めたのは、高校三年生の頃でした。大学へ進学して、本気でオリンピックを目指したいという気持ちが強くなり、そう決意して決めた大学が鹿屋体育大学でした。鹿屋体育大学は日本で唯一の国立の体育大学ということもあり、最高の施設・設備が整っています。更に教員免許などを取得でき学業の面でも自分の能力を広げられ、とても充実した大学生活を送れる場所です。私は、この環境の中でカヌースプリント競技・カナディアン種目の競技者として着々と成長することができ、今では日本国内ではトップレベルで戦えるまでにになりました。スポーツにおいて、勝利は誰から見てもわかる魅力の一つです。周りからはわからない本人の中だけにある、全力で何かに打ち込んでいる充足感というものを得るために、日々の練習を鍛錬し、常に進化する気持ちで努力していれば、競技成績だけでなく未来への道も大きく開けるのではないかと思います。同じ競技者として持つスピリッツが共鳴し合い、お互いにこの鹿屋体育大学を盛り上げていければいいと思います。



春山 さくら

Haruyama Sakura
武道課程2年
平成25年度 AO(SS)入試
熊本西高校出身
なごな部所属





「目標は日本一」

私が鹿屋体育大学に進学を決めた理由は、高校の時に成し得なかった日本一を大学で達成したいと思ったからです。また、日本唯一の国立体育大学ということで第3種公認規格の陸上競技場やトレーニング場などの施設・設備が整っており、競技力向上に有益な情報や知識も多く得られます。昨年度の全日本大学女子駅伝では本学過去最高順位である第4位、全日本大学女子選抜駅伝では第2位となり、目標とする日本一まであと一歩というところまでできました。このように着実に力をつけてこられたのも熱心に指導して下さる先生方や、日々共に練習に励む仲間、競技に集中して打ち込める素晴らしい環境があるからです。今後は大学日本一はもちろんのこと、個人としてはユニバーシアード出場など世界に目を向けていきたいです。また、2020年に開催される東京オリンピックで活躍できるようこの恵まれた環境を最大限に生かし、一回りも二回りも成長していきたいと思っています。



前川 祐紀

Maekawa Yuki
スポーツ総合課程2年
平成25年度推薦入試
鳥取中央育英高校出身
陸上競技部所属

Messages from students

在学生からのメッセージ

選手として、指導者として、人として大きく成長したい

私が鹿屋体育大学を選んだ理由は、この大学では教員免許を取得でき、体育・スポーツについて専門的に学ぶことができるからです。それだけでなく、この大学はグラウンドや体育施設がとても充実している、サッカーの技術を向上させるために必要な環境が整っているところや、周りに海や山などの自然がいっぱいで、温泉もたくさんあって疲れた日には心身ともに癒されるところにも魅かれました。

小学生の頃からサッカーをしていたので、大学に入ってからもしっかりと上手くなろうとサッカー部に入りました。大学に入るまでは味わえなかった天然芝で、全国の高校から来た部員たちとお互いが向上できるように日々努力をしています。またサッカー部では部員がプレーする側だけでなく、子どもたちの指導をする側としても働いています。私はそれを知り、ジュニア指導にも興味があったので、1年生の9月頃から小学校低学年のコーチとして働くことになりました。

最初の頃はどんな指導をすればいいのか、どんなふうに子どもたちと関わればいいのかも全然分かりませんでしたし、子どもたちに楽しくサッカーをさせてあげることができていなかったと思います。でも指導を続けていく中で、子どもたちの反応を見たり、先輩や先生にアドバイスをもらったりしているとだんだん子どもたちがサッカーを楽しめるような指導ができるようになってきたと思います。子どもたちを育てる側でありながら、自分も子どもたちに育てられているんだと感じました。

私は子どもたちがサッカーを通して、体を動かすことを楽しめるように、またいろいろなスポーツが好きになれるようにこれからもサポートしていきたいです。私は鹿屋体育大学でいつでも学ぶ姿勢と努力することを忘れないで、この大学で良かったと思えるくらい、選手として、指導者として、人として大きく成長したいです。



北村 暢治

Kitamura Nobuharu

スポーツ総合課程4年
平成23年度 一般入試
南陽高等学校出身
サッカー部所属



福井 響

Fukui Hibiki

スポーツ総合課程4年
平成23年度 一般入試
大阪府立池田高等学校出身
自転車競技部所属

新鮮さと、夢。

「鹿屋に行く。」こう言う私に驚きの表情を見せたのは両親でした。またそれは友人、そして先生に波及していったのを今でも鮮明に覚えています。高校3年生にあがるときには既に鹿屋体大1本で受験をすると決めていました。大阪で暮らす普通の高校生が何故そこまで鹿屋にこだわるのか。今思い返すと私は大学の新鮮さに惹かれていたのだと思います。

高校3年の夏、大学を見学するため大阪から遠々鹿屋に足を運びました。私は高校の時から自転車競技をしていましたので、足早に向かった先はもちろん自転車競技部のもと。不安な顔の私に笑顔で出迎えて下さったのは、監督の黒川先生をはじめ数々の偉大な先輩方でした。鹿屋の澄んだ空気の中で夢を追う先輩方の姿を見て、私もこの地のこの空気の中で夢を追うと心に決めました。

それから3年経った今、私は依然、夢を追いかけています。自転車に乗る側である選手から、自転車を整備するメカニックに転向したのもまた、夢を追いかけるため。私の夢は自転車ショップの経営。この大学には夢を追うための自由が全て揃っています。3年前に感じていたこの大学の新鮮さとはこういうところで発揮されているのだと、私は今改めて感じています。



よりスポーツに関する知識を学びたいと思える

私は横浜の専門学校から第3年次編入学で入学しました。

将来はチームトレーナーを目指しています。そのために、遠く離れた横浜から、日本でも名高い研究施設や機器がある鹿屋体育大学に入学しようと決意しました。私はそれらの研究施設を用いた、バイオメカニクスのゼミナルに入っています。難しい分野ではありますが、先生方から教えて頂き、よりスポーツに関する知識を学びたいと思えるようになりました。

現在は、アスレティックトレーナー部に所属し、勉強会を行いつつ、現場では野球部のトレーナー活動をしています。鹿屋体育大学では、積極的に学ぶことに挑戦するとそれだけ知識になり、いつかそれが将来につながると思います。皆さんも一緒にポジティブトライしましょう!



土川 千尋

Tsuchikawa Chihiro

スポーツ総合課程4年
平成25年度 第3年次編入学
神奈川県立松陽高校卒



アテネオリンピック 競泳女子800m自由形金メダリスト

柴田 亜衣

Shibata Ai

平成17年3月 体育学部 体育・スポーツ課程卒業
平成21年3月 大学院 体育学研究科修士課程修了
平成23年4月 鹿屋体育大学 広報アドバイザー
平成23年4月 株式会社プラミン所属

柴田亜衣オフィシャルサイト <http://www.plumin.jp/aishibata/>

少しでも速くなりたい

入学した当初は、私自身オリンピックに出場できるとは思っていませんでした。ただ、少しでも速くなりたい、という気持ちを強く持ち、毎日の練習に取り組んでいたところ、階段を1歩ずつ上るように徐々にオリンピックが目標になり、金メダルを獲得事が出来ました。今思えば、1日1日の練習の積み重ねがなければ、オリンピック出場は叶わなかったでしょう。また、素晴らしい先生や共に練習する仲間との出会いがあったから毎日の練習に耐えられ、毎日を積み重ねることができたのだと思っています。

学生の皆さんも、1日1日を大切にしてください。そして仲間と一緒に目の前の目標に向かって1歩ずつ歩み、強い意思を持って頑張ってください。皆さんのご活躍をお祈りいたします。

卒業生からのメッセージ

Messages from graduates



INAC神戸 監督

前田 浩二

Maeda Koji
平成3年3月
体育学部 体育・スポーツ課程卒業

皆さん、こんにちは。サッカー部4期(1991年)卒の前田浩二と申します。

私は、鹿屋体育大学第一号のプロアスリート、プロサッカー選手として11年、引退後はプロの指導者として11年に至り、12年目の現在は日本女子サッカーナショナルリーグ所属「INAC神戸」の監督をしております。私が入学した当初を振り返ってみると1年～4年まで全学年揃って活気に満ち溢れ、世間を知らない私たちは大人の先輩方にくい引きつけられた印象です。鹿屋の名を全国に轟かすという、とても強い意志・パイオニア精神が脈々と伝わり、後輩に受け継がれていく時代でした。その結果2004年アテネ五輪水泳女子・柴田亜衣さんの金メダルに繋がったのではないのでしょうか。在校生のご活躍はあらゆることから見聞しております。皆さんから勇気を頂き、励まされ、そして負けたくない気持ちを持って、少しでも社会に貢献出来るように努めております。これからも我が鹿屋体育大学の発展に皆さんと共に発展に尽力してまいります。

第一期入学生として

まだ「昭和」の時代だった、1984年に我々が第一期生として入学し、およそ30年の月日が経過しています。我々の入学当時は、現在は世界に誇れる素晴らしい施設も3分の1しか完成されておらず、グラウンドは石ころだらけという状況に愕然としたことが昨日のこのように思い出されます。広大なキャンパスの中で、当時150名しかいなかった我々は、先輩という存在がいなかったこともあり「後輩たちへ残せる良い伝統の礎を築こう。」と何となく意識したものでした。

今も、30年経ってもキャンパス内で大きな声で誰にでも「コンニチハ!」と挨拶する「伝統」は生きていることでしょう。残念ですが、私自身も都会での生活が長くなると見知らぬ人に挨拶が出来ない自分がいたりします。「挨拶ごとき」と思わずに、これから入学する皆さんも、卒業後も社会に役立つ鹿屋体育大学の良き伝統として永遠に続けていって欲しいことだと願っています。鹿屋は地理的な部分などでは決して恵まれているとはいえない環境としては苦労するかもしれませんが、変な都会にいるよりは何事にも集中できる環境だともいえます。五輪の金メダリストをも輩出し、全国でいや世界で活躍する人材が育つこの大学をもう「しかや」と呼ぶ人はいないと思います。スポーツに打ち込める素晴らしい「鹿屋体育大学」で自分を大きく磨いて頂きたいと思えます。



(株)TBSテレビ勤務

宮本 和幸

Miyamoto Kazuyuki

第一期卒業生
昭和63年3月 体育学部
体育・スポーツ課程卒業



株式会社アシックス ベースボール事業部

尾石 誠太

Oishi Seita
平成24年3月 体育学部 スポーツ総合課程卒業

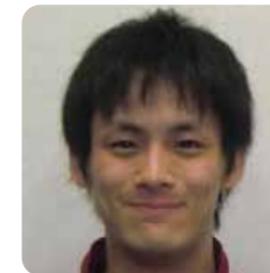
学生それぞれの夢を本気で追求するための場所!

野球のグラブ職人になりたい。それが私の幼い頃からの夢でした。その夢を叶えるために野球のことをさらに知りたいたいと思い、遠い北海道から鹿屋体育大学への入学を決めました。在学中は野球部に所属し、選手として技能を高めながら、心理学やバイオメカニクスなど様々な角度から野球を科学的に見つめる良い機会となりました。(また、大学以外の活動では国際交流協会に所属し、外国人と交流できるイベントを企画したり、アルバイトを4つ掛け持ちしたりもして自分の幅を広げていきました。)そして厳しい就職活動の結果、希望していた(株)アシックスに入社することができ、今は、これからグラブの開発生産ができることを心から楽しみにしています。鹿屋体育大学には学生それぞれの夢を本気で追求するための環境が整っています。鹿屋が辺鄙で田舎だということは、夢を掴むことに比べたらとるに足りません。ぜひ夢を熱く語る仲間と充実した体大生活を過ごしてください。本気なら、鹿屋体育大学です。

多くの素晴らしい先生や先輩、 仲間に恵まれ、充実した6年間

大学入学当時はわからないことばかりで、不安でいっぱいでした。しかし、部活動やゼミなどを通じて、多くの素晴らしい先生や先輩、仲間に恵まれ、大学院修士課程までの6年間の大学生活は大変充実したものでなりました。鹿屋体育大学では、様々なことを学ぶことができ、本当に素晴らしい仲間と巡り会うことができます。私はそのような環境で大学生活を過ごしたことで、多くの刺激を受け、様々なことに興味を持つようになりました。

中でも、多くの時間を過ごしたアスレティックトレーナー部と運動生理学のゼミでの活動で特に刺激を受け、大学卒業時には「健康運動指導士」の資格を取得し、「健康づくり」に関わる仕事に就きたいと思うようになりました。私はその夢を実現し、現在株式会社オージースポーツで働き、フィットネスクラブの現場で運動指導を行っています。仕事の中でも、大学で学んだことが基礎となり、大いに役立っています。受験生の皆さん、鹿屋体育大学は多くの可能性がある場所です。頑張ってください。



株式会社オージースポーツ コスバ藤井寺
健康運動指導士

小澤 源太郎

Ozawa Gentaro

平成21年3月 体育学部 スポーツ総合課程卒業
平成23年3月 大学院 体育学研究科修士課程修了



鹿児島県立薩摩中央高校教諭

初瀬 有志

Hatuse Yuushi
平成23年3月
スポーツ総合課程卒業

私は現在、夢であった高校の体育教諭として働いています。いろいろな生徒がありますが、生徒の表情や心の変化に気が付けるよう、コミュニケーションをたくさんとることを心がけ、情熱をもって生徒と接しています。一日一日がとても短く感じ、充実した毎日を過ごしています。「教育」という仕事に責任を感じますが、夢であった職業に就くことができるととても嬉しく思います。大変だと感じることも多々あります。しかし、「学生時代と比べれば」と思えばなんでも乗り越えていけます。数ある大学の中でも鹿屋体育大学に入学したのは、私自身が鹿児島出身ということと身近に感じる大学だということ、水泳の強化合宿で使用させていただく機会が多くあり、部活動に打ち込むには最高の環境だと感じたからです。学生時代は部活動に明け暮れました。自己の競技力向上がチーム力向上につながり、いつしか「鹿屋に貢献したい」と強く思うようになりました。毎日必死に練習しました。「限界を自分でつくらない」のチャレンジ精神と「チームのために」という責任感を教わりました。また、苦楽をともにしてきた友人に出会えたことは私にとって大きな財産です。夢に向かって諦めず、努力することの大切さを教えてくれた鹿屋体育大学。私はこの大学を卒業できたことを誇りに思っています。受験生の皆さん、鹿屋体育大学へ入学して、自分の可能性を最大限に広げてください。そして夢実現に向かって頑張ってください。

国際交流

International Exchange Program



友情の絆は、世界へ結ばれている。

上海体育学院(中国)、韓国体育大学校(韓国)、国立体育大学(台湾)及びウィルフリッドローリエ大学(カナダ)と学生交流(交換留学)を行っています。交換留学生は、学内で選考し、期間及び派遣学生数は、一大学につき1年以内2名までです。留学先で修得した授業科目等の単位は、できる限り本学で取得した授業科目として認定する単位互換を行っています。

外国人留学生在籍状況 (平成26年5月1日現在)

国・地域	学部	特別聴講学生	計
中国	4	2	6
韓国	0	2	2
台湾	1	1	2
計	5	5	10

単位:人



日本語補講の授業風景(学生交流学習室)

留学生支援制度(短期派遣)

この制度は、独立行政法人日本学生支援機構から奨学金を受けて大学間交流協定を締結している外国の大学に留学させることにより、諸外国の大学との留学生交流の一層の拡充を図り、相互の教育・研究水準の向上に資するとともに、各国間の相互理解と友好親善を推進することを目的としています。



写真中央

鹿屋に来て、よかった!

私は上海からの交換留学生です。鹿屋に来て、6か月が経ちます。鹿屋に来る前までは、初めての外国での生活を楽しみにしていた反面、言葉や生活文化の違いに不安もありました。しかし、先生が優しく、周りの友人が熱心で、鹿屋の市民も親切だったので、たくさん助けられました。それで、だんだん鹿屋が好きになっていきました。6か月の間、専門の研究について勉強しただけではなく、さまざまな日本の社会、体育、文化についても体験してきました。この経験は私を大きく成長させてくれました。留学期間はあと4ヶ月しかありませんが、残りの期間を大切にしたいと思います。日本語の勉強も異文化の体験も、頑張ります!ありがとうございました!

朱 瑞敏
特別聴講学生
出身国:中国(上海体育学院から留学)

国際交流体験

なりたい」「たくさんの友人と会話したい」と授業以外の時間も自然と勉強するようになっていきました。半年が過ぎた頃、中国語のレベルに不安を持ちつつも、中国人学生が受講しているクラスに参加することを決めました。実際には先生の話す内容はほとんど聞き取れず、スライドに映し出される文章を頼りに受講する結果になってしまいましたが、中国人と一緒に、中国の講義を受けるという貴重な体験となりました。その中で感じたことは、日本の大学生に比べ、中国の大学生は意見を伝える力が優れているのではないかとことです。授業中に意見を求められれば、ほとんどの学生が自分の意見を発表し、「分かりません」といった回答や単語のみの回答はあまり聞かれません。合っているかどうかではなく、自身の意見をクラスメートの前で堂々と語る姿は、私自身が学ぶべき姿だとほっとさせられました。またその反面、周囲が外国人であることにより、日本人特有の勤勉さや向上心にも気づくこともできました。コツコツと頑張る力や誠実な態度、規則を守る力は日本の優れた文化なのだ、今後自信を持てるように思います。学習面の他にも多くの貴重な体験をすることができました。中でも特に、多国籍の友人と共に過ごした毎日が宝物のように感じられます。文化の違う国同士、同じ部屋で生活することや一つのチームを組むことは、容易ではなかった気がします。多くの失敗や意見のぶつかり合い、文化の違いからお互いに納得することが出来ず、最後まで分かり合えなかった事も何度もありました。その度につない中国語を使い、お互いに理解し、伝え合おうとする姿勢はずっと大切にしていきたい力となって身についたと思います。今回の留学経験は私にとってとても深いものとなりました。今後は物事をグローバルに捉え、世界に活躍できる人材となることを目指し、また、日本と中国の関係だけにとどまらず世界中の人々が尊敬し合う世界を祈りながら今後も邁進していきたいと思います。

留学報告書



房原 有衣子
写真中央上から2人目
体育学部 スポーツ総合課程4年

昨年夏、本大学における『交換留学制度』を希望し、中国での留学を決め、今年1月に1年間の留学から帰国しました。大きな不安を抱えつつも無事に渡航し、留学直後は留学生のために設けられた中国語のクラスに参加、少人数クラスでの指導を受けました。生活面においても、英語の苦手な私は中国語を頼りに会話するしかなく、ルームメイトの韓国系留学生とはお互いの電子辞書を突き合わせて会話する毎日でした。こうした環境の中で、徐々に語学勉強の面白さや他国の友人とコミュニケーションをとることの楽しさを覚え、「もっと話せるように

留学生からのメッセージ

Messages From Foreign Students

Cooperation Network

連携ネットワーク



●国立スポーツ科学センター



●筑波大学



●東京サテライトキャンパス
(筑波大学・鹿屋体育大学連携推進室)



連携大学院



体育・スポーツ分野
での連携協力



社会人コース



スポーツ合宿・
まちづくり推進事業等



●鹿屋市



●鹿屋体育大学



スポーツ体験活動等



体育学・スポーツ科学連携
大学院教育プログラム



●国立大隅青少年自然の家



●鹿児島大学 教育学研究科



●熊本大学 教育学研究科

Campus Life

アクティブ・クリエイターの
ライフ・バックランド。

ここでは、大自然に囲まれて、豊かなスポーツスピリットが育まれています。
春は新緑が萌え、夏は南国の陽光が降り注ぐトロピカルな気候のもと
秋はとても元気な台風が来るし、冬は桜島の火山灰だって降る。
大自然の計り知れない懐に抱かれ、トレーニングする充実感。
心地いい疲れを癒してくれるのは、大隅の温暖な気候。
ここで成長し、逞しく実を結ぼう、大きな夢を実現させるために。

Yearly Events

年間行事

- 4月
 - ・新入生オリエンテーション
 - ・入学式
 - ・新入生歓迎会
 - ・前期授業開始
- 5月
 - ・競技力向上週間
- 6月
- 7月
 - ・前期期末試験
- 8月
 - ・夏期休業(8月1日～)
- 9月
- 10月
 - ・開学記念日(10月1日)
 - ・後期授業開始
 - ・蒼天祭
- 11月
- 12月
 - ・冬期休業(12月26日～)
- 1月
- 2月
 - ・後期期末試験
- 3月
 - ・春期休業(3月11日～)
 - ・卒業式・学位記授与式

打ち込めること、ひとつ。サークル活動



本学には、現在、22のサークルと3つの研究会があり、ほとんどの学生が加入しています。特に、多くの体育系サークルでは、全国規模の大会で優秀な成績を収めるなど、活発な活動を展開しています。サークル活動は、学生が自主的に行う活動であり、社会の一員として必要な資質を身に付けたり、教養を高めるなどの大切な役割を担っています。また、サークル活動を通じて得られるさまざまな体験は、学生生活をより充実させ、一生忘れることのできないすばらしい思い出にもなります。したがって、学生が各自の関心と適性にあったサークルに所属し、より高い専門的知識や技能を身に付けるために積極的に活動することをお勧めします。



Extra-curricular Activities

陸上競技部 (83)	剣道部 (125)	研 究 会	伝統文化・スポーツ研究会 (3)
硬式野球部 (29)	ヨット部 (11)		グローバル研究会 (11)
テニス部 (22)	漕艇部 (3)		Strength & Conditioning 研究会 (12)
男子バレーボール部 (11)	自転車競技部 (28)		
女子バレーボール部 (28)	カヌー部 (22)		
男子バスケットボール部 (36)	なぎなた部 (7)		
女子バスケットボール部 (32)	セバタクロール部 (7)		
サッカー部 (103)	ウインドサーフィン部 (8)		
ラグビー部 (16)	アスレティックトレーナー部(専任) (5)		
体操競技部 (23)	アスレティックトレーナー部(兼部) (21)		
水泳部 (48)	ゴルフ部 (2)		
柔道部 (64)			

注) ()は平成25年5月1日現在の部員(会員)の数

主な競技成績 (平成25年度)

陸上競技

- 第97回日本陸上競技選手権大会
 - 【男子】砲丸投 8位
 - 【女子】ハンマー投 9位
 - 【女子】砲丸投 10位
- 2013日本学生陸上競技個人選手権大会
 - 【女子】800m 6位
 - 【女子】5000m 6位
 - 【男子】走高跳 2位
 - 【男子】砲丸投 3位
 - 【男子】やり投 4位
 - 【男子】砲丸投 10位
 - 【男子】ハンマー投 10位
 - 【女子】円盤投 2位
 - 【女子】走高跳 7位
 - 【女子】ハンマー投 7位
 - 【女子】砲丸投 10位
- 天皇賜盃 第82回日本学生陸上競技対校選手権大会
 - 【女子】5000m 5位
 - 【女子】10000m 7位
 - 【男子】走高跳 5位
 - 【男子】砲丸投 7位
 - 【男子】ハンマー投 9位
 - 【女子】走高跳 4位
 - 【女子】ハンマー投げ 9位
- 第31回全日本大学女子駅伝対校選手権大会 総合4位
- 2013全日本大学女子選抜駅伝競走 総合2位

テニス

- 平成25年度全日本学生テニス選手権大会
 - 【男子】シングルス ベスト64
 - 【男子】ダブルス ベスト32
 - 【女子】シングルス ベスト32
 - 【女子】ダブルス ベスト32
- 平成25年度全日本大学対抗テニス王座決定試合
 - 【女子団体】ベスト8
- 平成25年度全日本学生室内テニス選手権大会
 - 【男子】ダブルス 予選準決勝
 - 【女子】シングルス 予選1回戦
 - 【女子】ダブルス 予選決勝
- 福岡国際女子テニス2013
 - 【女子】ダブルス 本戦1回戦

男子バレーボール

- 第66回秩父宮賜杯全日本バレーボール大学男子選手権大会 一回戦敗退
- ビーチバレー・ジャパン・カレッジ2013 7位

女子バレーボール

- 第6回東アジア競技大会 女子バレー 2位
- 第60回秩父宮賜杯全日本バレーボール大学女子選手権大会 3年ぶり2回目優勝
- 第68回国民体育大会スポーツ祭典東京2013 成年女子 4位
- 天皇・皇妃杯全日本バレーボール選手権 ベスト16
- Vプレミアリーグ 内定選手:中大路純野(久光製薬スプリングス:優勝)、内瀬戸真実(日立リヴァーレ:ニューヒロイン賞受賞)
- 第39回西日本大学バレーボール女子選手権大会 6年連続10回目優勝

男子バスケットボール

- 第65回全日本大学バスケットボール選手権大会 1回戦敗退

女子バスケットボール

- 第65回全日本大学バスケットボール選手権大会 1回戦敗退

サッカー

- 第37回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント 3位
- 平成25年度 第62回全日本大学サッカー選手権大会 3位

体操競技

- チャレンジカップ・クロアチア大会
 - 【男子】平行棒 4位
- 第67回全日本体操種目別選手権
 - 【男子】平行棒 4位
- 第67回全日本学生体操競技選手権大会
 - 【男子】団体総合 6位
 - 【男子】平行棒 7位
 - 【男子】つり輪 8位

水泳

- 第89回(2013年度)日本選手権水泳競技大会
 - 【男子】1500m自由形3位、800m自由形1位、400m自由形2位
 - 【女子】200mバタフライ2位
- ジャパンオープン2013(50m)
 - 【男子】400m自由形4位、1500m自由形2位
 - 【女子】200mバタフライ2位、400m自由形4位
- 第27回ユニバーシアード競技大会
 - 【男子】400m自由形2位、800m自由形2位、1500m自由形2位、800mフリーリレー4位
 - 【女子】200mバタフライ1位
- 第89回日本学生選手権水泳競技大会
 - 【男子】400m自由形3位、1500m自由形1位
 - 【女子】100m平泳ぎ1位、200m平泳ぎ1位、100mバタフライ3位、200mバタフライ1位、400m自由形4位、400m個人メドレー4位、400mフリーリレー5位、800mフリーリレー4位
- 第6回東アジア競技大会
 - 【女子】200mバタフライ2位
- 第55回〔2013年度〕日本選手権(25m)水泳競技大会
 - 【男子】400m自由形3位、1500m自由形3位
 - 【女子】100m平泳ぎ3位(B)、200m平泳ぎ3位(B)、400m自由形3位

柔道

- 全日本学生柔道優勝大会(男子62回 女子22回) 女子3人制3位
- 全日本ジュニア柔道体重別選手権大会
 - 【男子】60kg3位、66kg1位、81kg5位
- 平成25年度全日本学生柔道体重別選手権大会(男子32回、女子29回)
 - 【女子】78kgベスト8
- 世界ジュニア柔道選手権大会
 - 【男子】66kg級2位、団体3位
- 平成25年度全日本学生柔道体重別団体優勝大会
 - 【男子】団体ベスト8
- 講道館杯全日本柔道体重別選手権大会
 - 【女子】48kg級1位

剣道

- 第8回全日本学生剣道オープン大会
 - 【男子】三段以上の部 1位、3位 / 二段以下の部 3位
 - 【女子】三段以上の部 3位
- 第61回全日本学生剣道選手権大会
 - 【男子】個人ベスト8
- 第47回全日本女子学生剣道選手権大会
 - 【女子】個人1位、個人2位

ヨット

- レーザーラジアル級世界選手権
 - 【男子】シルバーフリート 33位
- 2013年度全日本学生ヨット個人選手権大会
 - 【混合】スナイプクラス 11位、14位、20位
- 2013年全日本学生シングルハンドレガッタ
 - 【混合】レーザークラス 3位
- 第22回全日本学生女子ヨット選手権大会
 - 【女子】470級 15位
- 第78回全日本学生ヨット選手権大会
 - 【混合】スナイプクラス 6位、470クラス 9位、総合 6位
- 九州学生ヨット選手権大会
 - 【混合】スナイプクラス 1位、470クラス 3位、総合 2位

漕艇部

- 第40回全日本大学選手権大会
 - 【女子】女子シングルスカル 6位
- 第4回西日本大学ガレット
 - 【女子】女子ダブルスカル 1位

自転車競技

- 第6回東アジア競技大会
 - 【男子】個人パーシュート 2位
- 第15回全日本学生選手権クリテリウム大会
 - 【男子】40.0km 1位、2位
 - 【女子】16.0km 1位、2位
- 第52回全日本学生選手権チーム・ロード・タイムトライアル大会
 - 【男子】チームロードタイムトライアル(94km)1位
- 第25回全日本学生個人ロード・タイムトライアル自転車競技大会
 - 【男子】個人ロードタイムトライアル男子(30.8km) 1位
- 第17回全日本選手権個人タイムトライアル・ロード・レース大会
 - 【男子】男子U23(30km) 1位、2位
- 第82回全日本自転車競技選手権大会トラック・レース
 - 【男子】40kmポイントレース 1位、エリート4km個人パーシュート 1位
 - 【女子】3km個人パーシュート 1位・2位、20kmポイントレース 1位
- 文部科学大臣杯第69回全日本大学対抗選手権自転車競技大会
 - 【男子】ロード部門総合成績 1位、総合成績 1位、チームパーシュート 1位、ロードレース 1位、4kmインディヴィデュアルパーシュート 1位、ポイントレース 1位
 - 【女子】ロード部門総合成績 1位、総合成績 1位、チームスプリント 1位、ロードレース 1位、ポイントレース 1位・2位、スプリント 1位、500mタイムトライアル 1位、3kmインディヴィデュアルパーシュート 1位

カヌー

- 第27回ユニバーシアード競技大会
 - 【男子】C-1 1000m 出場、K-1 500m 出場、K-1 1000m 出場
- 2013カヌースプリントジュニア&U23世界選手権大会
 - 【男子】U23男子カヤック 出場
 - 【女子】U23女子カヤック 出場
- 第49回全日本学生カヌースプリント選手権大会
 - 【男子】C-1 1000m 2位・5位、C-2 1000m 5位、C-2 5000m 2位、C-1 4×500mリレー 4位、C-4 1000m 4位、K-1 4×500mリレー 2位、K-1 5000m 2位・4位、K-4 1000m 2位、カナディアン部門 3位、カヤック部門 3位、総合順位 2位
 - 【女子】WK-1 500m 4位、WK-1 4×500mリレー 3位、WK-2 500m 2位、WK-4 500m 5位、総合順位 3位
- 平成25年度日本カヌースプリント選手権大会
 - 【男子】C-1 500m 4位・5位、C-1 1000m 4位、C-2 500m 2位・5位、C-2 1000m 1位・2位・5位、K-1 500m 5位、K-1 1000m 4位、K-2 500m 3位、K-2 1000m 2位・4位、K-4 500m 1位、K-4 1000m 1位、
 - 【女子】WK-2 500m 5位

なぎなた

- 第52回全日本学生なぎなた選手権大会
 - 【女子】個人の部 1位

ウインドサーフィン

- 第68回国民体育大会
 - 【女子】団体ウインドサーフィン級 6位
- 2013年度全日本学生ボードセーリング大会
 - 【女子】クラス 4位
- 2013年全日本学生ボードセーリング大学大会対抗戦
 - 【混合】15位

充実の環境が、 キャンパスライフを サポートする。



学生宿舎は、構内ライフゾーンの一角に位置し、1棟70名収容の建物が5棟設けられています。部屋はすべて個室(約6畳)で、収容人員は350名(男子280名、女子70名)、現在、在学生全体の約4割の学生が入居しています。棟内は、居室のほか、各階に共用施設として補食談話室、洗面・洗濯室、浴室、トイレ等があります。寄宿料等は、1カ月当たり12,800円(寄宿料4,300円、運営費等8,500円)です。規則正しい生活を送れるように、学部1年生から3年生については学生食堂での朝食摂取を入居の条件としています。朝食代:年額67,520円(平成26年度実績)、年度当初に全納(欠食の場合は返金)

学生宿舎

Student Dormitories

名称	1居室面積・構造	居室数(個室)	備考
A棟	約10㎡・鉄筋5階	70	男子
B棟	〃	70	男子
C棟	〃	70	女子
D棟	〃	70	男子
E棟	〃	70	男子



- 管理運営
管理運営業務は、学生課が担当し、宿舎敷地内の共用棟に管理人を置いています。なお、入居者が自主的に規律ある共同生活を行うため、自治組織として「学生宿舎会」が設けられています。
- 入居者の選考方法
入居者の選考は、所定の規則に基づき、宿舎生活に支障がないこと、自宅からの通学距離が30km以上であること、経済に困窮度が高いこと、入居後の生活態度等を勘案して行います。抽選や、先着などではありません。
- 設備
寝具類はリースしていますので、準備する必要はありません。各階に洗濯機・乾燥機が設置しており、無料で利用できます。インターネットは、個人毎に契約して居室で利用できます。
- 自動車等
駐車場及び駐輪場を設置しています。駐車場の使用は無料ですが、許可が必要です。なお、新入生は、1年間は自動車の持ち込みはできません。



大学周辺には、多くのアパートが点在しており、本学学生も入居しています。家賃は月額25,000円～50,000円(6畳～8畳)です。詳しくは、学生課にお問い合わせください。

学生・教職員の福利厚生増進のため、大学会館が設置されており、食堂、喫茶、売店、理・美容室などがあります。学生の憩いの場として「学生ラウンジ」を設け、学生相互のコミュニケーション等に利用されています。また、学生・教職員の健康の保持・増進を図るための施設として、「保健管理センター」があり、健康等に関する助言・指導や、傷害に対する救急処置等を行っています。課外活動、本学主催の講習会・研修会・スポーツ交流会等に利用できるように、宿泊室や研修室等を備えた「合宿研修所」が設置されており、最大で113名が宿泊できます。



学生ラウンジ



ロッカー室



ギャラリー・喫茶



理・美容室



保健管理センター



売店

学生食堂(朝食バイキング)



福利厚生

Community Service Facilities



合宿研修所

入試結果

平成26年度入学者選抜実施結果

スポーツ総合課程

単位：名

区分	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
AO(SS)入試	10	9(3)	9(3)	9(3)	9(3)
推薦入試	50	57(19)	57(19)	51(18)	51(18)
一般入試	60	271(46)	256(41)	69(15)	60(14)
特別入試	帰国子女	若干人	0(0)	0(0)	0(0)
	社会人	若干人	2(0)	2(0)	2(0)
私費外国人留学生入試	若干人	2(0)	1(0)	1(0)	1(0)
計	120	341(68)	325(63)	132(36)	123(35)
第3年次編入	20注1)	39(6)	39(6)	20(1)	19(1)

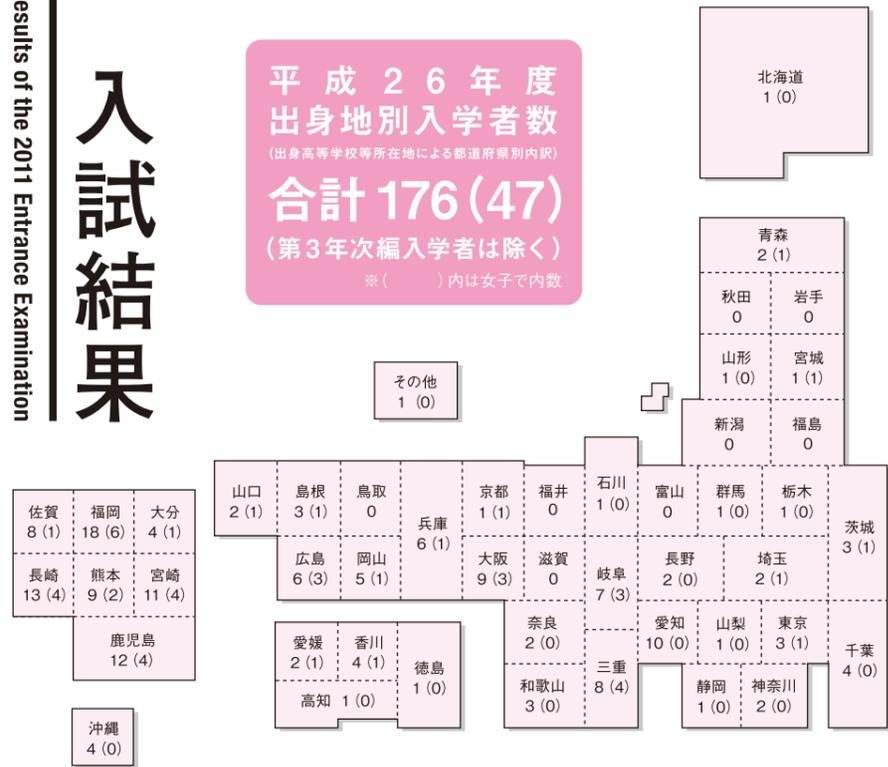
武道課程

単位：名

区分	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
AO(SS)入試	5	3(1)	3(1)	3(1)	3(1)
推薦入試	20	26(10)	26(10)	22(10)	22(10)
一般入試	25	50(7)	49(7)	29(2)	28(1)
特別入試	帰国子女	若干名	0(0)	0(0)	0(0)
	社会人	若干名	0(0)	0(0)	0(0)
私費外国人留学生入試	若干名	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
計	50	79(18)	78(18)	54(13)	53(12)
第3年次編入	20注1)	1(0)	1(0)	0(0)	0(0)

()は、女子で内数。注1)第3年次編入の募集人員は、スポーツ総合課程と武道課程と共通。

平成26年度
出身地別入学者数
(出身高等学校所在地による都道府県別内訳)
合計176(47)
(第3年次編入学者は除く)
※()内は女子で内数



平成27年度入学者選抜

選抜方法

次の選抜方法により実施します。

- AO(SS)入試*
- 推薦入試
- 面接及び実技検査による選抜(一般入試)
- 帰国子女入試
- 社会人入試
- 私費外国人留学生入試
- 第3年次編入学試験

*SSとは、スーパー・スチューデント(Super Student)の略で、競技能力の特に高い者を指します。

選抜方法の概要

平成27年度入学者選抜要項の公表は7月下旬の予定です。

選抜要項の請求

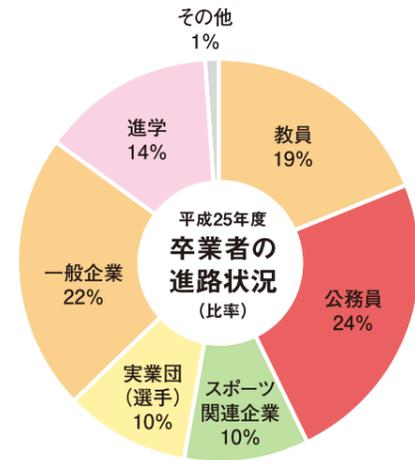
封筒の表に「平成27年度選抜要項請求」と朱書きし、返信用封筒(角形2号封筒に宛名明記・140円切手を貼付)を同封の上請求してください。

請求先

〒891-2393
鹿屋市白水町1番地
鹿屋体育大学教務課入試係
TEL(0994)46-4869

主な就職先一覧

1987(昭和62年度)~2013(平成25年度)卒業生



職業	就職先
公務員	行政職 秋田県 消防 盛岡地区広域行政事務組合、西村山広域行政事務組合 警察 青森県、秋田県、山形県
教員・研究者	小中高教員 青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
企業等	スポーツ関連 セノー株式会社 一般企業 東北日本電気ソフトウェア株式会社 実業団(選手) アンソネット岩手・八幡平、山形銀行

職業	就職先
公務員	行政職 和歌山県、高砂市、京都市 消防 茨木市消防、枚方市豊麗川消防組合、大阪市消防局 警察 三重県、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、滋賀県、京都府 刑務所 京都府、大阪府、神戸市、奈良少年 自衛隊 陸上自衛隊
教員・研究者	中高・養護教員 三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、花園高(中高一貫) 研究者 兵庫医療大、大阪国際大、大阪産業大、甲賀健康医療専門
企業等	スポーツ関連 セノー株式会社、ミズノ株式会社、アサヒシューズ、サイクルベースあさひ、大野DOJO、イトマン・スミダックス 一般企業 梅本ペーパー、NTT西日本、日本生命保険相互会社、CDG、株モロゾフ、株セコム三重、三恵観光、積水ハウス株式会社 実業団(選手) 日本生命アスレチックス、ワコール、久光製薬スプリングス、クリムゾンフットボールクラブ、和歌山トライアズ、富士通テニス

職業	就職先
公務員	行政職 山口県、宇部市、長門市、周南市、広島市、鳥取県体育協会 消防 出雲市 警察 島根県、岡山県、山口県 刑務所 松江市、広島県、山口県 自衛隊 航空・陸上自衛隊
教員・研究者	中高・特別支援教員 鳥取県、岡山県、広島県、山口県、広島工業大 研究者 吉備国際大、環太平洋大、広島経済大
企業等	スポーツ関連 梅ルネサンス 一般企業 J R西日本広島支社、株ユニクロ、JA岡山、広島YMCA 実業団(選手) 山口県体操協会、ユニクロ(女子陸上)、大野石油広島オイラーズ、ガイナール鳥取

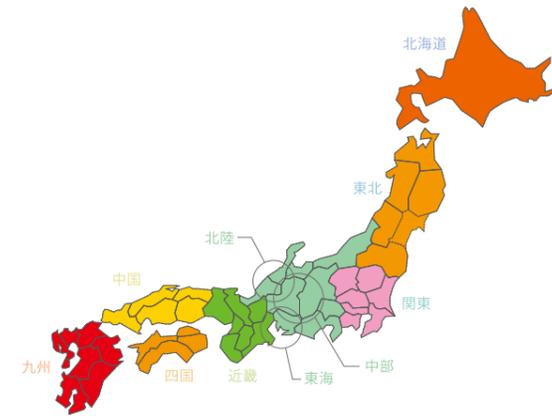
職業	就職先
公務員	行政職 徳島県、高知県、池田町、高松市、宇和島市 消防 宇和島広域、丸亀市消防 警察 徳島県、香川県、高知県、愛媛県 刑務所 徳島県、松山市
教員・研究者	中高・特別支援教員 徳島県、香川県、愛媛県、高知県、明善学園英明高、太平洋学園高
企業等	一般企業 日本食研株式会社、株マルハン、ALSOK徳島支社、セコム高知支社、大塚製薬株式会社、第一三共株式会社 実業団(選手) J2徳島ヴォルティス、香川オーブガイナース

職業	就職先
公務員	行政職 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、鹿屋市、大分県、鹿児島県、福岡県体育協会 消防 福岡市、日向市、都城市、垂水市、有明広域事務組合、久留米広域消防組合 警察 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県 刑務所 福岡県、佐賀少年、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、精華女子高 自衛隊 陸上・海上自衛隊
教員・研究者	小中高・特別支援教員 福岡県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、精華女子高 研究者 九州共立大、活水女子大、熊本県立大、熊本大、鹿屋体育大、第一工業大、都城高専
企業等	スポーツ関連 株太陽スポーツクラブ 一般企業 株九電工、トヨタカラー博多、ネットトヨタ鹿児島、株KDDI、株マルハン、アイ・ケイ・ケイ株式会社、ABCマート、福岡ALSOK、佐川急便、株サイイ引越センター鹿児島支社、江藤酸業株式会社、ファイザー株式会社、株佐賀支店、株ハウステンボス、福岡証券取引所、株鹿児島銀行、株沖縄銀行、株鹿児島放送
実業団(選手)	サガン鳥栖、ロアッソ熊本、大分HOYO、ホンダロックSC、TOTO株、陸上、ギラヴァンツ北九州、宮崎シャイニングサンズ、京セラ陸上部

キャリア形成支援室には、求人票、参考図書、企業案内書等が備えてあり、自由に閲覧できるようになっています。企業のHPにアクセスできるようにパソコン(3台)を備えています。(利用時間/8:30~17:15)また、就職相談員を配置し、就職相談に対応しています。

Career Prospects

就職



第1回大学説明会及び体験授業

(鹿屋体育大学白水キャンパスで開催)

第1回 平成26年7月19日(土) 10:20~16:00

本学の特色や教育・研究の内容について理解を深めてもらうとともに、施設見学等により、進路選択の参考としてもらうために次のとおり実施します。受験生、保護者、高校の先生方、多数の参加をお待ちしています。

- ①在学生からのアドバイス ②質疑応答 ③実験、実習体験を含む施設見学
④サークル活動見学 ⑤大学案内・入試資料・記念グッズ配付

体験授業

本学の教育・研究内容を少しでも知っていただくために、高校生、受験希望者(保護者を含む)を対象に次のとおり体験授業を企画いたしました。多数の参加をお待ちしています。

実施日 平成26年7月20日(日)

区分	科目名	担当	授業内容	時間	募集人員
A	「スポーツマンのための英語」	吉重 美紀 国重 徹	CALL教室で、スポーツマンのための英語を学びましょう!	9:00 ~ 10:10 (70分)	30名
B	「楽しいジョギング入門」	松村 勲	ジョギングの走り方を覚え、楽しくジョギングしましょう!	10:30 ~ 11:40 (70分)	30名

第2回 平成26年10月18日(土) 10:20~16:00

大学説明会

(東京サテライトキャンパス(筑波大学・鹿屋体育大学連携推進室)で開催)
(所在地:東京都文京区大塚3-29-1)

- 第1回 平成26年5月25日(日) ●第5回 平成26年11月16日(日)
●第2回 平成26年6月22日(日) ●第6回 平成27年1月31日(日)
●第3回 平成26年8月16日(土) ●第7回 平成27年3月22日(日)
●第4回 平成26年8月17日(日)

※時間はいずれの回も13時(受付)~16時30分※日程は変更になることがあります。

詳細については、[本学ホームページ](http://www.nifs-k.ac.jp/)をご覧ください。



インターネット
<http://www.nifs-k.ac.jp/>

鹿屋体育大学のホームページを開設しています。学部・大学院の詳しい内容やキャンパスライフ、入試情報などをお知らせします。

本学ホームページ



トップページ



研究者の紹介



サークル紹介



NIFSブログ

資料請求



テレメール



モバっちょ

Q&Aインフォメーション

Q & A Information

Q Question

推薦入試と一般入試ではどのような試験を実施しているのですか?

平成25年度入試については、本学が行う試験を次のとおり実施しました。
・推薦入試:実技検査、面接、小論文
・一般入試:実技検査、面接
なお、一般入試では大学入試センター試験も加えて選抜されます。平成26年度については、学生募集要項を請求して確認してください。

3年次編入学試験の小論文では、どのような問題が出題されましたか?

本学の教育を受けるにふさわしい資質をみるため、競技スポーツ、武道、健康、体力等の領域から出題します。なお、過去問題を次のとおり配布しています。
・請求方法:封筒の表に「3年次編入学小論文過去問題請求」と朱書きし、返信用封筒(長形3号封筒に宛名明記、80円切手貼付)を同封の上、本学へ送付のこと。

合格者発表は電話で教えてもらえますか?

電話での問い合わせには、一切応じていません。合格者発表は、本学掲示板への掲示と、本人あて「合格通知書」の送付によります。
なお、本学ホームページ上でも合格者受験番号を公表しています。

サークルには必ず加入しなければなりませんか?

サークルに所属することにより、競技力の向上を目指すことができるだけでなく、集団生活の中で規律を守ることや人間形成を図ることができるため、できるだけ加入することを勧めています。また体育系サークルだけでなく研究会もあります。
なお、本学サークルでは、いわゆる先輩部員によるシゴキとかイジメなどはありませんので、安心してください。

自動車による通学はできますか?

学内駐車許可は、通学が片道1km以上に限定して許可しています。学生宿舎からの自動車による通学はできません。

学生宿舎は希望すれば入居できますか?

学生宿舎は、大学敷地内にあり、その経費も、普通のアパートに比べ安価であるため、入居希望者が多く、必ずしも全員が入居できるとは限りません。しかし、新入生は、優先的に入居できるように在学生よりも枠を多く設けるなど配慮しています。詳細は、学生課に照会してください。

アルバイトはできますか?

学生は勉学が本分であり、過度のアルバイトは好ましくありません。しかし、経済的事情等である必要がある学生のために、適宜紹介を行っています(危険を伴うもの、教育上好ましくないもの、法令等に違反するもの等アルバイトとして適当でない業種については紹介していません。)学生課に登録台帳を置いていますので、自由に閲覧して選択してください。

Answer



日本学生支援機構

- (1) 第一種奨学金(無利子)
人物・学業共に特に優れかつ健康であって、経済的理由により著しく就学困難と認められる者に貸与されます。
- (2) 第二種奨学金(有利子)
人物・学業共に優れかつ健康であって、経済的理由により著しく就学困難と認められる者に貸与されます。
- (3) 入学時特別増額貸与奨学金(有利子)
国民生活金融公庫の教育ローンを低所得を理由に受けられなかった世帯向け。人的保証制度に代わる機関保証制度により、保証人がいない場合でも一定の保証料を支払うことにより奨学金を貸与されることがあります。

【貸与金額】(平成26年4月1日)

大学	第一種奨学金(無利子) 自宅通学者:45,000円または30,000円、 自宅外通学者:51,000円または30,000円	第二種奨学金(有利子) 3・5・8・10・12万円から選択
大学院(修士課程)	第一種奨学金(無利子) 88,000円または50,000円	第二種奨学金(有利子) 5・8・10・13・15万円から選択
大学院(博士後期課程)	第一種奨学金(無利子) 122,000円または80,000円	第二種奨学金(有利子) 5・8・10・13・15万円から選択
入学時増額貸与	(有利子)10・20・30・40・50万円から選択	

学費

入学料等 (平成25年度実績)

区分	金額	納入時期
入学料	282,000円	入学時
授業料	前期 267,900円	4月30日まで
	後期 267,900円	10月31日まで
その他経費(各種保険料等)	75,200円	入学時

学費の免除

- (1) 入学料免除
入学前1年以内において、入学する者の学費を主として負担している者(学費負担者)が死亡し、又は入学する者若しくは学費負担者が風水害等の災害を受けたことにより入学料の納付が著しく困難であると認められる者は、願い出により入学料の全額又は半額が免除されることがあります。(大学院生は経済的理由で申請可)
- (2) 授業料免除
次に該当する者は、願い出により授業料の全額又は半額が免除されることがあります。
①経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる者
②入学前1年以内において、学費負担者が死亡し 又は入学する者若しくは学費負担者が風水害等の災害を受けた者
- (3) 入学料特別免除・授業料特別免除
競技成績又は学業成績の特に優れた者に対し実施します。
競技成績、一般入試成績又は学業成績を基に選考(本人申請手続きは不要。)

鹿屋体育大学 日本学生支援機構 奨学生数一覧

入学年度	学部					大学院						
	学生数 a	一種	二種	併用(一・二種)	計 b	貸与比率 b/a	学生数 c	一種	二種	併用(一・二種)	合計 d	貸与比率 d/c
22	200	22	86	7	115	58%	-	-	-	-	-	-
23	193	32	80	9	121	63%	5	2	0	1	3	60%
24	177	24	88	6	118	67%	28	15	0	0	15	54%
25	184	28	59	7	94	51%	28	12	0	5	17	61%

注) 地方公共団体・民間の育英奨学事業団体等の奨学金もあります。

奨学金

Scholarships

教育研究活動中の不慮の災害事故の補償や、課外活動中・往復中の事故の補償のほか、他人への賠償等のために、次のような各種傷害保険を準備しています。なお、学部学生は、入学時に学生教育研究災害傷害保険及びスポーツ安全保険に全員加入しています。

学生教育研究災害傷害保険	学生が体育実技や実験実習等の正課の授業中、学校行事、課外活動中等、教育研究活動中の事故や通学中等の事故によって被った傷害に対して、補償する制度。本学では、学生が安心して学業に励むことができるように入学時に全員加入していただいています。	保険料:3,300円(4年間) 1,750円(2年間)
スポーツ安全保険	サークル等でスポーツ活動、指導活動を行う者が、その活動中や往復中に生じた事故によって傷害を被った場合や他人にケガをさせたり、他人の物を壊したりして損害賠償を負った場合、補償する制度。本学では、学生が安心して課外活動ができるように入学時に全員加入していただいています。	保険料:7,400円(4年間) 3,700円(2年間)
傷害総合保険	教育研究活動中のみならず日常生活で生じたさまざまな事故に対して、総合補償する制度。損害賠償制度や学費・育英費用にも対応しており、加入は、任意となっています。	保険料 自宅 40,000円 寮・アパート 48,000円(4年間) 自宅 21,000円 寮・アパート 25,000円(2年間)
学研災付帯学生生活総合保険		保険料 自宅 A 43,760円 自宅 B 33,820円 自宅 C 53,560円 自宅 D 43,620円 (4年間)

※H26.4月現在

傷害保険

Casualty Insurance